

平成30年度豊橋市上下水道モニター委員会について

1. 目的

- 本市では、高度経済成長期に整備したインフラが更新時期を迎えています。同時に、少子高齢化の進行は施設の利用需要に変化をもたらします。併せて、人口減少に伴う税収の減少や高齢化による扶助費の増加などにより厳しい財政運営が予想されています。
- こうした状況に対応するため、公共施設の最適化を図り、人口減少に対応し、将来の負担軽減による安定した財政運営、時代に応じた適正かつ安全・安心な公共施設等の提供及び維持可能なまちづくりに向けた「公共施設等総合管理方針」を平成29年3月に策定したところです。
- 上下水道事業においても、この方針に基づき、人口減少、施設の老朽化・更新需要、国の補助制度の動向、一般会計の負担の状況など経営上の課題を勘案した事業としての持続可能性を検証し、更なる経営基盤強化に向けた方針・方策の検討を行うものです。

2. 進め方

年度	内容
29	本市上下水道事業の現状の説明・意見交換、課題についての意見交換・取りまとめ
30	本市上下水道事業経営の在り方（課題について取組み等）を説明・意見交換・取りまとめ